



4月から5月の中旬にかけて、北伊予校区では各分館で運動会が行われました。4月は、15日の中川原をかわきりに、2地区の分館で運動会が開催されました。競技は、チームが1列に並び、サッカーボールを頭の上から後ろに渡し、そのスピードを競うなど工夫を凝らしたものが多く、老若男女問わず大勢の人が参加しました。また、運動会に併せて、防災クイズや、子どもたちが消火器の使い方などを学ぶ、防災訓練も行われました。地域のコミュニケーションや世代間の交流がさまざまな形で図られ、楽しい1日を過ごせたのではないのでしょうか。

東公民館	
神崎210	☎984-11159
春の運動会	

おはなしかい

日時 6月23日(土) 11時
場所 文化センター2階 第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

6月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 6月30日(土)

- ◆特急ワイドビューひだに乗り損ねた男／西村 京太郎
- ◆見とこ、行つとこ、トコトコ四国／もぐら
- ◆三匹のおっさん ふたたび／有川 浩
- ◆心霊探偵八雲 9／神永 学
- ◆天使たちの課外活動 2／茅田 砂胡
- ◆「超」入門 失敗の本質／鈴木 博毅
- ◆三毛猫ホームズの夢紀行／赤川 次郎
- ◆50歳を超えても30代に見える生き方／南雲 吉則
- ※この他にもたくさんのおはなしが入っています。

6月の新刊

松前町ふるさとライブラリー

筒井633
☎985-14140



「わからないことはたくさんあるの、あつていいの。市営斎場前に建つ、一軒のうどん屋。暖簾をくぐるのは、命の旅立ちを見届けたひとたち：(峠うどん物語)」「きみの人生は終わつたも同然。謎の言葉をかける老人と青年は旅に出る。京都の小路から、はるか宇宙の：(三十光年の星たち)」「つい、手にとってみたくなる、そんな一冊が西公民館の図書室にあります。推理小説から料理本、旅の情報、CD付き手あそびの本など、幼児から高齢者まで楽しんでもらえるよう、少ないながらもさまざまなジャンルの本を取りそろえています。皆さん、ぜひ一度西公民館の図書室をのぞいてみてください。

西公民館	
北黒田966-2	☎984-15313
図書室	

一般書

ナミヤ雑貨店の奇蹟
東野 圭吾 著 / 角川書店

あらゆる悩みの相談に乗る、不思議な雑貨店。しかしその正体は…。物語が完結するとき、人知を超えた真実が明らかになる! 全5編収録。

一般書

バイ貝
町田 康 著 / 双葉社

今を生きるには、飽くなき消費を続けるしかないのだろうか…。溜まりゆく鬱を散らすため、「私」はホームセンターに向かった。果たして鬱を散らすことはできるのか。超激烈文芸作品。

児童書

負けない!
クルム伊達公子 著 / ポプラ社

37歳で現役に再挑戦し、今も世界で活躍するテニスのクルム伊達公子。常に挑戦を続けるトップアスリートが、がんばることの楽しさ、おもしろさを伝える。なんでもQ&A付き。

絵本

アンパンマンとバナナダンス
やなせ たかし 作・絵 / フレーベル館

バナナダンス祭りの参加者を探しに来たバナナマン。アンパンマンたちが祭りに来てくれることになって大喜び。ところが、みんなより先にバナナ島に戻ると島が大変なことに…。



4月24日に第一回の研修会を実施しました。これは各分館の新役員体制が共通理解を図るためのもので、毎年度初めに行っています。多くの役員さんたちが参加しての研修となり、岡田校区の満ち溢れるパワーと本館事業に寄せる熱意などが感じられました。研修会では、講師に愛媛県市町教育委員会連合会会長の金本房夫先生をお迎えし、「ここは私たちのふるさと」と題して講話をいただきました。「古里」「望郷」と「向都離村」で思うふるさとより、選択的定住民として岡田地区を考えたいという話に参加者一同、共感しました。本館としてもふるさとに誇りを持てるよう、リーダー育成に励んでいきたいと思えます。

北公民館	
昌農内456-1	☎984-17529
分館役員・愛護部役員研修会	

「加齢によるもの忘れ」でも、放置していると軽度の認知症になり、アルツハイマー型認知症になる可能性が高いと言われています。「もの忘れ」が激しいと感じるのであれば、早めに専門医の診察を受けて下さい。

◆「加齢によるもの忘れ」なら

①朝食に何を食べたか即答できないが、時間をかけると主食、副食を思い出せる ②もの忘れの自覚がある ③人物や時間・場所の意識があり、理解できる

◆「認知症によるもの忘れ」なら

①朝食を食べるにも関わらず「朝食はなんだ？」と出来事全てを思い出せない ②もの忘れしている自覚がない ③人物や時間・場所まで分からなくなることがある

もの忘れ

「何をしようとしていたのか忘れた」「さっきまで考えていたことが思い出せない」など、年齢を重ねると「もの忘れ」が増えたと感じることはありませんか?

「加齢によるもの忘れ」は、脳の神経細胞の減少による老化現象で誰にでも生じますが、それが「認知症によるもの忘れ」なら、脳の神経細胞が早く消失するという病気のなのです。

包括支援	
筒井710-1	☎985-14205
松前町地域包括支援センター	